

## 健康社会研究センター ニュースレター 第8号

2010.12.03 発行

発信元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

名古屋市中区千代田5-22-35

日本福祉大学 名古屋キャンパス北館7階

Tel:052-242-3074/Fax:052-242-3076

### ◆ 目次 ◆

- 1 最近のプレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 受賞のお知らせ
- 4 学会・シンポジウム等のお知らせ

## 1 最近のプレスリリース

### うつの家族介護者、死亡・要介護リスク倍増 (2010年11月12日更新)

2003年に愛知県下6自治体の健康な65歳以上の高齢者を対象に郵送調査を行い、その後4年間にわたって追跡調査をした結果、うつ傾向・うつ状態の家族介護者では、介護者でも、うつでもない高齢者に比べ2.14倍も死亡・要介護状態となるものの割合が高かった。また、家族介護の有無はうつの有無にかかわらず死亡・要介護状態となるものの割合が1.3倍前後高く、いっそうの介護者支援の重要性が示唆された。

《詳細はこちら》<http://square.umin.ac.jp/ages/press-releases/10-004.pdf>

## 2 主な研究成果発表

### <書籍>

- ① K.Kondo ed: Health Inequalities in Japan - An Empirical Study of the Older People. Trans Pacific Press, Melbourne, 2010.11
- ② 近藤克則：健康格差—現状と生成のプロセス，そして対策の糸口—，車谷典男・實成文彦（編）「公衆衛生ブックレット1 健康をまもる社会基盤の再構築—その糸口はどこか—」1-12，(財)日本公衆衛生協会，2010
- ③ 齊藤雅茂，近藤克則：第5章 社会的排除と健康格差. 福祉・医療における排除の多層性：差別と排除の〔いま〕4. 147-171，明石書店，2010.10

### <論文>

- ① 吉井清子：健康の社会的決定要因(7)「がんと社会経済的地位」. 日本公衆衛生雑誌 57(10)：936-940, 2010, 10
- ② 鄭丞媛，近藤克則：医療の質のマネジメントとP4P. 総合リハビリテーション 38(10)，2010, 10
- ③ 鄭丞媛，近藤克則，井上祐介：リハビリテーションにおける「医療の質の評価指標」の開発に向けた因子分析. 日本医療経営学会誌 4(1)：43-49, 2010

### <学会発表>

- ① 鄭丞媛，近藤克則，井上祐介：日本の回復期リハビリテーション病棟におけるP4P実施前後のパフォーマンス変化分析. 第45回韓国保健行政学会後期学術大会，2010.11.19 韓国・広州

### <マスコミでのコメントなど>

「給付減が逆に財政負担増を招く」産経新聞 2010.11.26 (新聞記事掲載：11月27日付)

<http://sankei.jp.msn.com/life/welfare/101126/wlf1011260741002-n1.htm>

日本福祉大学の近藤克則教授（医療・介護政策）らのグループは平成18年、医療費の窓口負担の違いによる受診の影響を調べた。その結果、「費用負担」を理由に受診を控えた割合は、60代後半（3割負担）が70歳以上（1割負担）の1.5倍に上った。介護保険についても、近藤教授は「利用者負担を上げれば、医療同様にサービスの使い控えが起きることが予想される。医療と違い、命に直結

しないと考える人もいるが、要介護者や家族の健康悪化につながりかねない」と懸念する。同研究グループが65歳以上の高齢者を「介護をしていた」と「していなかった」の2群に分けて、4年間、追跡調査したところ、「介護をしていた」方が、死亡または要介護認定を受ける割合が3割も高かった。

【動画】「高齢者医療で日本版 NSF を」CB（キャリアブレイン）ニュース 2010 年 11 月配信  
<https://www.cabrain.net/news/regist.do>

厚生労働省の高齢者医療制度改革会議で委員を務める日本福祉大の近藤克則教授は、キャリアブレインの取材に応じ、高齢化社会の医療提供体制をどうするか議論が必要だと強調、英国 NSF（ナショナル・サービス・フレームワーク）の考え方を導入する必要性を訴えた。NSF とは、将来必要な医療サービスの目標などを設定、そこから逆算して課題を浮き彫りにし、長期戦略を練るものだ。目標達成度は評価され、必要に応じて戦略が見直される。

### 3 受賞のお知らせ

#### ① 川井記念賞受賞

埴淵知哉・平井寛・近藤克則・前田小百合・相田潤・市田行信：地域レベルのソーシャル・キャピタル指標に関する研究. 厚生指針. 第 56 巻第 1 号, 26-32

#### ② 第 45 回韓国保健行政学会後期学術大会 優秀論文発表賞を受賞

鄭丞媛・近藤克則・井上祐介：日本の回復期リハビリテーション病棟における P4P 実施前後のパフォーマンス変化分析. 第 45 回韓国保健行政学会後期学術大会, 2010. 11. 19 韓国・広州

### 4 学会・シンポジウム等のお知らせ

#### 1) 第三期「健康と暮らしの調査」保険者向け説明会について[要事前予約]

「第三期『健康と暮らしの調査』を活用した介護保険の政策評価委に関する説明会」が行われます。

【日 時】 平成 22 年 12 月 13 日（月）13:00~15:00

【場 所】 日本福祉大学名古屋キャンパス北館 7 階 7B 会議室

#### 2) 講演のお知らせ 群馬県介護支援専門員連絡協議会 公開講座

「介護予防ケアマネジメントはなぜ難しいのか

～ 健康格差社会の視点から考える ～

日 時：平成 23 年 1 月 16 日（日） 13:00～

会 場：群馬県社会福祉総合センター 8 階ホール 定員 300 人

[http://www7.wind.ne.jp/caremane\\_gunma/20110116\\_a.pdf](http://www7.wind.ne.jp/caremane_gunma/20110116_a.pdf)

申し込みは

[http://www7.wind.ne.jp/caremane\\_gunma/20110116\\_m.pdf](http://www7.wind.ne.jp/caremane_gunma/20110116_m.pdf)

---

ニューズレター第 8 号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら <[k-manami@n-fukushi.ac.jp](mailto:k-manami@n-fukushi.ac.jp) (泉)> までお知らせください。

ニューズレターのバックナンバーはこちら <[バックナンバー](#)>

発信元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

（このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」（2009 年 3 月 14 日開催）にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリスト web 登録をいただいた方に配信しています）